



▽冬囲いを外している様子

町立中茶安別小中学校の学校林、るんるんフォレスト、春の学校林活動が開催されました。この活動は、同校が策定した「森林環境教育年間指導計画」により、学校林で様々な自然体験学習が取組まれており、今回の活動は、実のなる木の「冬囲い」の撤去と植樹が行われました。

まず始めに、昨年の秋の活動で設置した「冬囲い」の撤去が行われ、子ども達は慣れた手つきで、ネズミ



大きく育てと

願いを込めて

5月20日（月）、標茶



▽植樹指導を聞いている様子

等の食害に遭わないよう、根元に被覆したペットボトル等を外してしました。

その後、伐採跡地へ移動し、児童・生徒や先生、保護者や地域住民の方々、標茶町森林組合の担当者が参加して、植樹が行われました。

1時間半程で、ナナカマド・ミズナラ・シラカンバ・アオダモ・トドマツ・エゾマツ・カラマツの7種・500本が植栽され、子ども達は「大きく育ちますように」と、願いを込めて植えていました。

最後にまとめとして、当センター



▽植樹の様子

職員から、植栽した苗木を育てるため、これからのような手入れが必要か説明し、春の学校林活動を終了しました。

なお、標茶町立中茶安別小中学校は、開校間もない昭和6年から現在まで、植樹活動の取組みと併せて、緑の少年団活動等を通じて、各種催しに参加する等、積極的に外部との交流を行っており、これまでの緑化推進の功労と森林環境教育の実践が認められ、この度、平成31年「緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。

木工クラフトに親子で熱中

平成31年4月27日(木)令和元年5月6日の10日間、釧路市こども遊学館で「木のおもちやであそぼう！」が開催されました。

この催しは、釧路市こども遊学館がゴールデンウィーク期間中に行う人気行事で、民間団体等が協力・出展し、木のおもちやの展示や木の工作等が行われます。

当センターは4月27・28日(土・日)に、こども遊学館のスタッフとボランティアの皆様にお手伝いいただき、マツボックリ・輪切りの木・



▽会場の様子



▽材料を選ぶ親子の様子

アイスやマッチ棒等を使った、木工クラフト作りを行いました。

今年のゴールデンウィークは、例年になく10連休となり、27日午前中は参加者が少なかつたものの2日間で80名を超える参加があり、親子で木工クラフト作りに熱中する様子が見られる等、用意した席がなかなか空かない状況となり、整理券が出される程の盛況となりました。



▽完成した作品

再生普及推進のための

連携チーム会合が開催

5月23日(木)、釧路地方合同庁舎で「第9回再生普及推進のための連携チーム会合」が開催されました。



この会合は、第3期行動計画の重点分野について、7つの小委員会が連携して進めるため、自然再生に携わっている者が参加して、再生普及小委員会の検討・協議事項の企画立案・調整等を行っていきます。

今年度1回目となる今回は、環境教育と自然再生の参加への機会づくり等について、事務局から説明があり、意見交換が行われました。

また、第4期釧路湿原自然再生普及行動計画の策定に当たり、前期の評価と併せて、第4期の(案)が検討されました。

釧路湿原の自然再生に係るイベントの開催予定は、「再生普及行動計画オフィスのホームページ」(www.kushiro-wanda.com)や、「ワンダグリンダ☆ニュース」や「釧路湿原イベントカレンダー」に掲載されていますので、是非、ご覧下さい。



林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号
【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【FAX】0154-41-7305
【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp
【URL】http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html



当センターは、国有林をフィールドとして、北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取組むNPO等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。